

# Weekly report

MINKABU  
THE INFONOID

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド

東京都港区東新橋1-9-1

## 今週の注目材料=米小売売上高、英・日CPIなどに注目

2026年4月20日

イラン情勢が落ち着いていく期待が広がり、今後はこれまでの状況を受けた各国経済の状況や金融政策の動向などに市場の注目が移っていくと見られます。

米国の材料としては21日の3月米売上高が注目されます。前回2月分は前月比+0.6%と、市場予想の+0.5%を超える伸びとなりました。これは2025年以來7カ月ぶりの高い伸びです。販促活動が目立った自動車の伸びがけん引したほか、衣料品、趣味・スポーツ・書籍、ガソリンスタンドなども堅調で、自動車を除くコアは+0.5%と、こちらも市場予想の+0.3%を超える伸びとなりました。

ただ今後については、イラン紛争を受けた原油高によるガソリン価格の上昇の影響が警戒されています。一部の大都市圏を除いて車が必需品である米国では、ガソリン価格が上昇しても消費への影響が限定的となり、売上高ベースで見ると拡大します。ただ、そうした消費拡大の影響で他の出費が抑えられる傾向があり、今回の小売売上高でどこまで影響が出ているのかが焦点となります。米国のガソリン価格はEIAの調査によると、2月から3月にかけて全米全種平均で1ガロン当たり3.039ドルから3.771ドルまで24.1%の上昇を見せました。この動向がどこまで数字に表れてくるかが注目されます。

予想は前月比+1.4%、自動車を除くコア前月比+1.4%と、一気に伸びが見込まれています。こちらはガソリンスタンド売上高の伸びがほとんど見られ、自動車とガソリンを除いた数字は前月比+0.2%と、2月の+0.4%から鈍化が見込まれています。今回は自動車とガソリンを除いた数字への注目が高まる可能性があり、こちらが前月比でマイナスになるようだと、ドル売りとなる可能性があります。

米国以外の材料としては、22日の3月英物価統計と24日の3月日本全国消費者物価指数(CPI)があります。

22日15時に発表される3月英物価統計（消費者物価指数(CPI)、小売物価指数(RPI)、生産者物価指数(PPI)）のうち、最も注目度の高いCPI前年比は、前回+3.0%と市場予想と一致し、1月から横ばいとなりました。2024年9月に+1.7%とインフレターゲットを下

回るところまで鈍化した英CPIは、その後反発しました。昨年は7、8、9月と3カ月続けて+3.8%を記録した後、いったん鈍化に転じ、今年1月、2月は+3.0%まで低下しました。インフレターゲットである+2.0%はまだ遠いものの、許容上限(注)とされる+3.0%まで落ちてきていました。しかし、イラン紛争を受けた原油高によって、物価の上昇圧力が高まると見込まれています。

(注)英中銀はCPIがインフレターゲットである+2.0%から±1%の幅を超過すると、財務大臣に対して公開書簡を提出し、改善策などを提示する必要があります。

今回の市場予想は+3.3%です。1月、2月はガソリン価格の低下が全体を押し下げましたが、3月は原油高によるガソリン価格の上昇が見られたことで、CPIも+3.0%を超える伸びが見込まれます。

国内需要の影響を表し、中長期的なインフレ圧力につながるとして中銀が注視しているサービスCPIは、前回+4.3%と1月の+4.4%から鈍化したものの、市場予想の+4.2%を上回り、高い水準での推移となりました。今回は+4.3%での維持が見込まれており、全体の強さと合わせ、警戒感につながる可能性があります。予想を超えて物価の伸びが見られると、利上げ期待が広がり、ポンド高となる可能性があります。

24日8時30分の3月日本全国消費者物価指数は、生鮮除くコア前年比が前回+1.6%と、47カ月ぶりにインフレターゲットである+2.0%を下回りました。電気代、都市ガス代補助金の再開により、エネルギー価格が-9.1%まで低下したことが要因となりました。

3月31日に発表された3月東京消費者物価指数(東京CPI)は、エネルギーを除くコア前年比が+1.7%と2月の+1.8%から鈍化しており、今回の全国消費者物価指数も落ち着いた水準が見込まれます。市場予想は+1.7%と前回から小幅に伸びが強まる見込みですが、2%割れの継続が予想されています。仮に予想を超えて伸びが強まるようだと、日銀の追加利上げ期待にもつながり、円買いが見込まれます。

#### 山岡和雅 | ミンカブ・ジ・インフォノイド 編集長

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後にGCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

#### <免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

#### <著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社/株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが保有しており、著作権法その他の法律に基づき権利を保護いたします。本レポート

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカフ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。